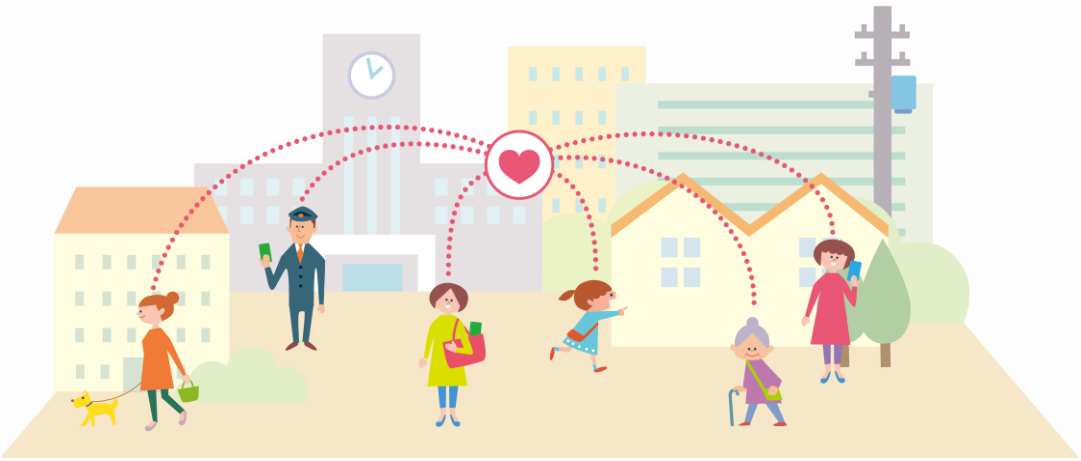
2026 年 8 月 25 日
株式会社ミマモルメ

日常の移動や活動が地域の見守りにつながる新アプリ

「ミマモルメリンク」を 9 月 1 日（火）から提供開始

～いつでも、どこでも、誰でも参加できる地域の見守りを実現します～



阪急阪神ホールディングスグループの株式会社ミマモルメ（本社：大阪市福島区、代表取締役：藤井啓詳、以下「ミマモルメ」）は、従来の「ミマモルメボランティアアプリ」を発展させた新アプリ「ミマモルメリンク」を 2026 年 9 月 1 日（火）から提供開始します。本アプリは“いつでも、どこでも、誰でも”まちなかミマモルメ対応の小型端末（Bluetooth Low Energy：以下 BLE）タグを検知できる機能を搭載し、日常の見守りと緊急時の捜索支援を大幅に強化します。

【「ミマモルメリンク」の主な特長】

・日常行動が見守りに

「ミマモルメリンク」は、アプリをインストールし見守りモードを ON にしたユーザーのスマートフォンが、近くを通過する BLE タグを自動で検知し読取実績をシステムへ送信するため、通勤や買い物など普段の行動が自然と地域の見守り活動につながります。

・保護者へリアルタイム通知

BLE タグを持つ子どもや高齢者の保護者は、ミマモルメアプリまたはメールで検知情報を受け取ることができます。

・貢献度の「見える化」

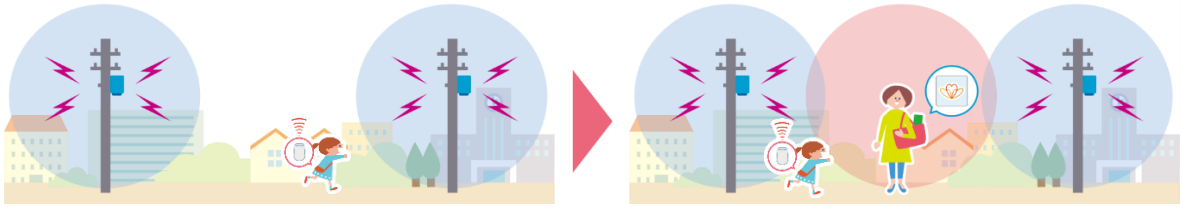
アプリ利用者は、BLE タグの検知数を通じて自身の見守り貢献度を確認でき、活動のやりがいを実感できます。

・従来の捜索支援を継承

これまでの登録ボランティアによる捜索支援の仕組みも継承し、日常の見守りと緊急時の捜索支援を強化します。

▼サービス提供後の検知エリアのイメージ

従来の見守り環境　　ミマモルメリンク提供開始後の見守り環境



▼利用者画面イメージ

【「ミマモルメリンク」開発の経緯】

ミマモルメリンクは、当社が目指す『あんしんがかたよりなく存在する社会の実現』に向け、BLE タグを活用した地域見守りを更に発展させる新しいアプリです。

伊丹市をはじめ各地で展開する当社の見守りサービスでは、利用者や自治体から寄せられる検知箇所の充実を求める声に応え、固定受信器や自動販売機、移動受信器など、受信ポイントを段階的に広げてきました。

今後は設備の拡充に加え、地域の方々にもご協力いただくことで、より網羅的な見守りを実現し、その輪を広げていくことが必要だと考えています。こうした思いから開発した「ミマモルメリンク」は、誰もが無理なく見守り活動に関わり続けられる環境を整え、日常の中で地域への貢献を実感できる機会を提供します。

【ミマモルメリンクが目指す見守りのかたちと今後の展開】

当社は、「ミマモルメリンク」を通じて、見守りモードを ON にしたアプリ利用者による日常的な BLE タグの自動検知、協力要請発生時のアプリ通知、登録ボランティアによる必要時の捜索支援を組み合わせ、地域の皆さまが自発的に参加できる見守りの輪を広げてまいります。

今後は伊丹市をはじめ、BLE タグを使用するまちなかミマモルメの導入自治体での運用を通じて利用状況やニーズを確認しながら、自治体や地域事業者と連携し、より多くの地域への展開を目指します。自治体・地域事業者・住民がつながることで、子どもや高齢者が安心して暮らせる持続可能な社会の構築に貢献します。

【登録ボランティアによる捜索支援】

本アプリでは、見守りモードによる日常の見守りに参加する「一般ボランティア」と、該当自治体の許可を受け、必要時の捜索支援にも協力する「登録ボランティア」の 2 種を設けます。

協力要請が発生した際には、アプリ上で協力要請を通知します。協力要請が発生した市区町村とは異なる地域の利用者には、「〇〇市で協力要請が行われています」など、地域名を示す限定的な情報のみを表示します。

捜索対象者の服装など、個人を識別するために必要な情報は、自治体の許可を受けた登録ボランティアに限り、捜索が必要な場合に提供します。登録ボランティアは、BLE タグの自動検知に加え、当該情報をもとに確認・捜索に協力することできます。この仕組みは、従来のボランティアアプリから継承します。

【提供概要】

名称	「ミマモルメリンク」
提供開始	2026 年 9 月 1 日
主な新機能	見守りモードを ON にしたアプリ利用者のスマートフォンによる、全ての対応 BLE タグの自動検知
ボランティア区分	一般ボランティア：見守りモードによる BLE タグの自動検知 登録ボランティア：自治体の許可を受け、必要時に対象者情報をもとに捜索を支援
協力要請通知	協力要請の発生時にアプリ上で通知。別の市区町村で発生した要請は、地域名を示す限定的な情報のみ表示
利用方法	［App Store／Google Play からアプリをダウンロードし、利用登録］
利用料金	［無料］

◆別紙

【株式会社ミマモルメが提供する各種サービス】

（１） 学校向け「登下校ミマモルメ」 https://www.hanshin-anshin.jp/mimamorume/

学校に設置させていただく機器の上をお子さまが通過された際に、保護者の方へリアルタイムで通知するサービスです。全国校 2,000 校を超える小中高等学校に導入いただき、利用者数は約 31 万人となりました。

【特長】

① IC タグを持ったお子さまが校門を通過すると、保護者にアプリ・メールでお知らせします。

② 緊急時の学校側からの通知をアプリ・メールでお知らせします（無料）。学年の更新や卒業時の退会処理も可能です。クラスや学年ごとの配信・アンケート機能などのサービスが充実しています。

③ 欠席遅刻管理、連絡帳機能（有料オプション）も搭載しています。

（２） 学童施設や未就学施設向け SaaS「学童ミマモルメ・登降園ミマモルメ」 https://www.hanshin-anshin.jp/preschool/

システムの導入により、児童・園児の持つ IC タグの通過情報を自動で記録・集計するほか、出欠や遅刻の管理、メール・アンケート機能、自治体への各種申請帳簿出力などで業務負担を軽減します。

【特長】

① 自動読取方式の IC タグを用いているため、カード式、二次元コード読み取り式及びタッチパネル式のような人の手を介した操作が不要です。

② 門・玄関を通過しただけで、入退室時間が自動登録されるため、正確な時間管理が可能です。

③ 自動集計で延長時間の管理が可能で、時間帯別の料金設定もできるため、保護者への請求書発行や自治体への各種申請が自動化され、管理者負担が軽減可能です。

④ 園児一人ひとりの登園・降園情報を保護者にアプリ・メールで通知します。

（３）「ミマモルメ GPS 」 https://www.hanshin-anshin.jp/gps/

コンパクトな GPS 端末をランドセルやかばんに入れて持ち歩くだけで、アプリから位置情報や歩いた経路を確認することができるサービスです。ミマモルメアプリ（見守り側）は複数名（親・祖父母など）登録可能で、家族みんなで見守ることができます。

（４）「まちなかミマモルメ」 https://www.hanshin-anshin.jp/machinaka/

まちなかに設置されたカメラと BLE のインフラ網を利用し、お子さまや高齢者を見守ります。

【特長】

① BLE を持ったご家族が、設置された BLE 受信器付近を通過するとアプリ・メールでお知らせします。

② 一般的な BLE のセキュリティの脆弱性を解消した独自のセキュリティを組み込んでおりますので、安心してご利用いただけるのが最大の特長です

（5）「おうちプラス」

お子さまの「いってきます（外出）・ただいま（帰宅）」をお知らせします。「登下校ミマモルメ」「まちなかミマモルメ」会員のオプションサービスです。

※ 学校の門に加え、お子さまが自宅の玄関を通った時もお知らせします。

・登下校メールおうちプラス https://mimamorume-anshin.jp/

・まちなかミマモルメおうちプラス
https://mimamorume-store.jp/products/iotgateway

【株式会社ミマモルメの概要】

本　　社：大阪府大阪市福島区福島 3 丁目 14 番 24 号
資 本 金：1 億円（阪神電気鉄道株式会社 100％出資）
設　　立：2017 年 8 月
代 表 者：代表取締役社長　藤井 啓詳
事業内容：あんしん事業（ミマモルメ）・教育事業（プログラボ）
〈ホームページ〉
ミマモルメ https://www.hanshin-anshin.jp/
プログラボ https://www.proglab.education/

以　上